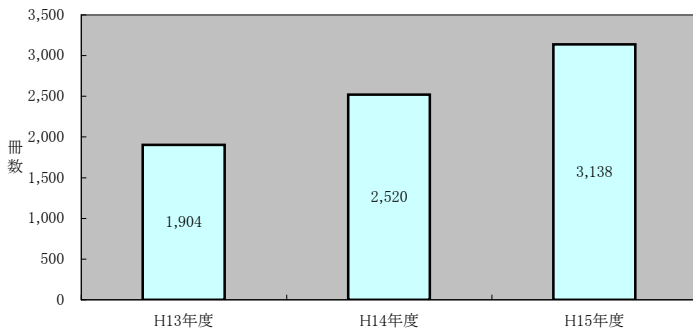
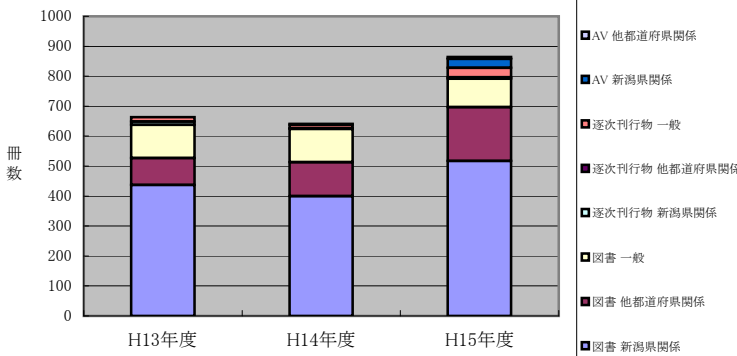


蔵書統計



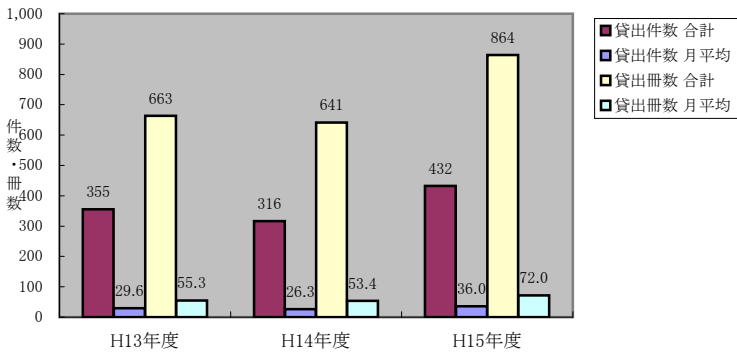
- H14年度に資料室業務内容を見直し、効率化を図りH14年度より新刊受付冊数が増加した。
- H12,14,15年度に未所蔵県内資料の収集を積極的に実施。H16年度も継続中である。
- H13年度より職員からの寄贈図書資料も増加し、全体的な新刊の増加となっている。

資料別貸出冊数



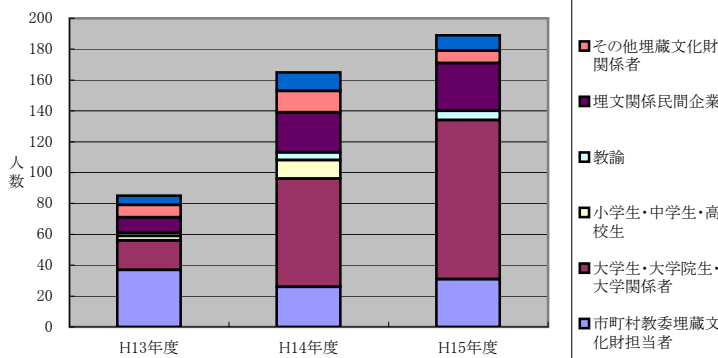
- H14年度は浦廻遺跡整理などを中心に中世遺跡の参考資料として広島県(草戸千軒遺跡)等の貸出が多かった。
- H15年度は青田遺跡整理などを中心に東北地方の遺跡を参考資料としての貸出が多かった。
- 毎年、福島県関係の資料の貸し出しが比較的多い。
- H15年度よりAV資料の貸出が可能になったため、利用増加した。

貸出件数・冊数



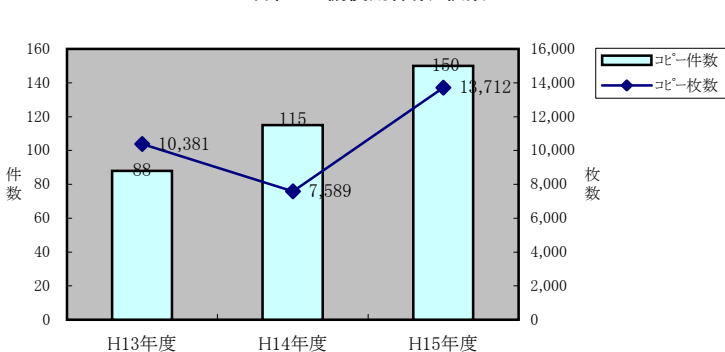
- H14年度より図書貸出方法の変更を実施した。実施当初は新方式がなかなか浸透しなかったが、現在は紛失も減少し貸出件数・冊数ともに増加し始めた。また朝日分室への貸出がH15.9より可能になったことも増加の一因と考えられる。

外部来室者数



- 全体的に資料室の外部利用者は増加している。
- 市町村教委埋文担当者の利用はほぼ横這いであるが、大学関係の利用は飛躍的にのびている。また、埋文関係民間企業からの利用も伸びている。
- 小中高校生の利用は総合学習が始まったH14年度に伸びをみせたが、翌H15年度の利用はまったくない。

外部コピー機使用件数・枚数



- 資料室外部利用者の増加に伴いコピー利用者も増加傾向にある。